

虚構世界をリアルに描いた

石原豪人展

～around the 1970s 妄想画、大集合～



図1 「幽霊」石原豪人／画『世界妖怪図鑑』立風書房1973年

1970 年前後、少年雑誌の大幅解頁に、怪人、怪獣、怪奇現象など、あらゆる「怪」を描いて読者のドキモを抜いた石原豪人。たくましい妄想力と緻密な描写力で、現実にはありえない虚構の世界をリアルに表現した豪人作品の数々をご覧に入れます。

併せて、同時代に活躍したイラストレーターたちの作品も紹介。彼らは「宇宙」や「ロボット」など未来志向の作品に取り組みましたが、同時に「地球最後の日」「死後の世界」など破滅的な世界も盛んに描きました。そんな光と影を色濃くまとっていた時代・around the 1970s についても探っていきます。



図2・石原豪人(いしはらこうじん)
1923 (大正 12) ～1998 (平成 10)
年、本名・石原徹 島根県出身
1954 年から大衆小説雑誌に挿絵を描き始める。様々なジャンルに描いたが 1970 年前後の少年雑誌に描いた怪奇現象や怪人のイラストが最も印象深く記憶されている。

弥生美術館

around the 1970s は、どんな時代？

(1970 年前後)

図 1 1 『アサヒグラフ』表紙 1969 年 8 月 15 日号 朝日新聞社 「緊急特別号 人類初の月着陸」

アームストロング船長はその歴史的瞬間について「この一歩は小さいが、人類にとって偉大な一歩である」という名言を残した。当時の話題を伝えるアサヒグラフを約 10 冊展示。



図 1 2 「超高速のあけぼの」梶田達二／画 『少年マガジン』講談社 1970 年 2 月 1 日号

東京オリンピック開催をめざして開通した新幹線は世界一速いと評判に。戦後の混乱から奇跡的な速さで立ち直り、経済大国にのしあがった日本であるが、1973 年のオイルショックから、経済成長は鈍化した。



◆2026 年 10 月 3 日（土）～12 月 20 日（日）
弥生美術館 所在地 〒113-0032 東京都文京区弥生 2-4-3 Tel.03-3812-0012

<https://www.yayoi-yumeji-museum.jp>

◆開館時間＝午前 10 時～午後 5 時（入館 4 時半まで）

◆休館日＝月曜日（ただし 10 月 12 日、11 月 23 日（月・祝）は開館、

翌 10 月 13 日、11 月 24 日（火）は休館。

◆入館料＝一般 1200 円/大・高生 1000 円/中・小生 500 円

※竹久夢二美術館と二階併せてご覧いただけます。

◆東京メトロ千代田線「根津駅」or 南北線「東大前」共に 1 番出口より徒歩 7 分/JR「上野駅」公園口・しのばず口より徒歩 20 分（東京大学 弥生門斜め前）

※駐車場はございませんので、お車でのお越しはご遠慮ください。

◆展示にあわせて河出書房新社より、「石原豪人」増補改訂版刊行。

河出書房新社より「around 1970 奇想画集」（仮）刊行。

隣接港や期間限定メニュー

「超能力プレート」図 1 3

怪物カードのおまけ付 600 円

さらにノンアルコールビール付 1000 円



1970 年代、オカルトブームが起き、心霊現象、UFO、終末論、超能力、超常現象、都市伝説などが話題となりました。超能力で曲げたフォーク（？）で、ノンアルコールビールのひとときを。トルティーヤチップス&ミートディップのメキシコ風おつまみ、ピクルス、蛸の怪獣に見立てた蛸ウインナーが、冷たい飲み物とよく合います。



地球滅亡の予感

図3「暗黒星の大引力」石原豪人／画『学習コミックス〈科学シリーズ〉⑥地球の最後X年』小学館 1975年

第一部 虚構性をリアルに描いた 石原豪人



林月光の名でも活躍

図4『世紀末倶楽部』裏表紙 コアマガジン 1996年6月 石原豪人／画
1975年頃からはポルノ系雑誌に林月光の名で挿絵を描き、その方面でも名を馳せた。



少年愛雑誌でも活躍

図5「松虫」石原豪人／画 神谷敬里(栗本薫)／作 『ジュネ』サン出版 1979年8月



晩年に新境地を開拓

図6「人面犬生態図解」石原豪人／画『GORO』小学館 発行年月不明
力、毒、色気を備えているのが豪人の特徴であるが、平成に入った頃から、そこに笑いの要素が加わって、さらに魅力的な世界を展開した。

第二部 Around the 1970 s 妄想画の画家たち



図7 ひきがえるの雨」山本耀也／画

『少年マガジン』講談社
1971年4月28日号

とつぜん空から大量のひきがえるが降ってきた！この頃の日本は、大気汚染、水質汚染が深刻化し、大きな社会問題になっていたが、それは第二次世界大戦後の工業復興がもたらした副産物でもあった。発展をめざして、より速くより遠くへと時代は加速していたが、その裏で、公害に端を発する環境崩壊の予兆が、人々を脅かしてもいたのであった。



図8 「イルカがせめてきたぞっ」小松崎茂／画『なぜなに学習図鑑9 なぜなにからだのふしぎ』小学館 1971年 小松崎茂インターネットミュージアム提供／画像

「イルカがせめてきたぞっ」は約10年前からインターネット上で話題にされてきたが、本年2026年末、同タイトルの実写映画が公開予定されている。（河原崎実監督）



図9 「たかいぞ！ひろいぞ！さかなのアパート」渡辺正美／画『なぜなに学習図鑑23 魚と貝のふしぎ』小学館
1974年 国会図書館デジタルコレクション／画像



図10 「みらいの月のき地」岡崎南雄／画『なぜなに学習図鑑4 月と宇宙のふしぎ』小学館 1970年

Fax 03-3812-0012

メール fishteel@yahoo.co.jp

弥生美術館 中村行

虚構世界をリアルに描いた

石原豪人展

～around the 1970s 妄想画、大集合～

画像貸出申込書

画像送付日 月 日必着

掲載誌／番組名
発売／放送予定日
所属・ご担当者名
ご住所
電話
メールアドレス

ご希望の画像にチェックしてください。

図 1 幽霊		図 8 イルカがせめてきたぞっ	
図 2 豪人顔写真		図 9 たかいぞ！ひろいぞ！ さかなのアパート	
図 3 暗黒星の大引力		図 10 みらいの月のき地	
図 4 『世紀末倶楽部』 裏表紙		図 11 アサヒグラフ表紙	
図 5 松虫		図 12 超高速のあけぼの	
図 6 人面犬生態図解		図 13 超能力プレート	
図 7 ひきがえるの雨		読者プレゼント	ご希望枚数 枚

通信欄

画像の貸出について

同封のプレリリースでご紹介している図 13 点について、データを用意しております。ご希望の場合は、この申し込み書に必要事項をご記入の上、fax03-3812-0012 か、fishteel@yahoo.co.jp までお申し込みください。尾写真（外観）等を必要とされる方は通信覧にお書きください。

読者プレゼント用招待券のご提供について

読者プレゼント用にご招待券を 5 組 10 名様までご用意いたします。この用紙にてお申込みください。

掲載誌ご送付のお願い

本展に関する記事をご掲載いただいた際には、お手数ですが掲載誌（紙）をお送りくださいますようお願い申し上げます。〒113-0032 東京都文京区弥生 2-4-3 鹿野出版美術財団 弥生美術館 中村圭子宛 電話 03-3812-0012